授業科目名	看護研究方法		担当教員	中村　光江、大重　育美	
開講年次	3年通年	セメスター	5・6	時間数(単位数)	45（1）
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室	
授業の目的	看護研究の特徴、研究の組み立て方、および研究倫理の知識を獲得する。あわせて、国内外の看護関連論文（原著）のクリティークを通して、批判的思考能力の獲得を目指す。				
到達目標	1. 看護研究の特徴、意義、研究デザイン、研究方法について説明できる。 2. 研究の倫理的配慮の必要性を理解し、それを確保する方法を説明できる。 3. 研究を計画する際に検討を必要とする事項を理解し、研究計画書作成のプロセスを経て、模擬計画書を作成できる。 4. 研究の進め方、論文の書き方、研究結果の活用方法について説明できる。 5. 看護研究論文のクリティークが実施できる。				
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	自ら看護に関する疑問や課題を見出し、研究的視点に基づいて適切な研究および手法を用い、その解決に取り組むための基礎を学ぶことによって、ディプロマポリシーに謳われている「4. 問題解決力」の「(2)（一部略）科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる」能力、および「5. 看護の専門性を探求する力」を身につけることができる。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
				○	◎

授業計画

回	授業内容	授業方法	学修課題（予習・復習）	取組時間	担当者
1	看護研究の意義と役割 研究の基本的な考え方	講義	予習：テキスト 第1章 A,B,C 精読	1時間	中村
2	グループワーク 指定論文（特徴・疑問点・私見など）についての個人の意見を共有・深化させる	演習（GW）	予習：指定論文の熟読 （特徴・疑問点・私見をまとめておく）	2時間	中村 大重
3	論文の種類と読み方 論文検索	講義	予習：テキスト第3章、第9章精読	1時間	中村
4	研究プロセスの概観 研究の問い（研究課題） 研究枠組みと仮説	講義	予習：テキスト第2章、第4章精読	1時間	中村
5	研究デザインの位置づけ 研究デザインの種類	講義	予習：テキスト第5章精読	1時間	中村
6	論文の構成 論文の書き方 研究倫理の確保（倫理的配慮）	講義	予習：テキスト第1章 D,E, 第9章 C 精読 復習：配布資料の振り返り	1時間	中村
7	量的研究①　データの収集 母集団と標本	講義	予習：テキスト第7章精読	1時間	大重
8	量的研究②　データの分析 記述統計	講義	予習：テキスト第8章精読	1時間	大重
9	量的研究③　推測統計	講義	予習：テキスト第8章精読	1時間	大重
10	質的研究①　質的研究とは 質的研究の特徴	講義	予習：テキスト第10章精読	1時間	中村
11	質的研究②　質的研究のデータ 質的研究の課題	講義	予習：テキスト第10章精読	1時間	中村

12	よい論文とは 論文クリティーク	講義	予習：テキスト第 9 章精読	1 時間	中村
13	指定論文（量的研究）の個人クリティークをグループ内でまとめる	演習 （GW）	予習：指定論文の熟読 クリティーク	2 時間	中村 大重
14	指定論文（質的研究）の個人クリティークをグループ内でまとめる	演習 （GW）	予習：指定論文の熟読 クリティーク	2 時間	中村 大重
15	クリティーク発表	演習 （発表）	予習：グループで発表の準備	1 時間	中村 大重
16	研究計画書の書き方	講義	予習：テキスト第 6 章精読	1 時間	中村
17	リサーチクエスチョンについて熟考・論文検索・教員からの指導①	演習 （AL）	予習：計画書作成 復習：計画書作成	各 2 時間	中村 大重
18	リサーチクエスチョンについて熟考・論文検索・教員からの指導②	演習 （AL）	予習：計画書作成 復習：計画書作成	各 2 時間	中村 大重
19	リサーチクエスチョンについて熟考・論文検索・教員からの指導③	演習 （AL）	予習：計画書作成 復習：計画書作成	各 2 時間	中村 大重
20	リサーチクエスチョンについて熟考・論文検索・教員からの指導④	演習 （AL）	予習：計画書作成 復習：計画書作成	各 2 時間	中村 大重
21	研究計画書へのフィードバック①	講義	復習：計画書の修正	1 時間	中村 大重
22	研究計画書へのフィードバック② 計画書の修正	講義 （AL）	復習：計画書の修正	1 時間	中村 大重
23	看護研究のプロセスについてのまとめ 計画書を踏まえた倫理的配慮について	講義	予習：全体を振り返り疑問点を明確にしておく	1 時間	中村

先行履修科目	2 年後期までに履修すべき全ての科目
テキスト	南裕子編：看護における研究 第 2 版．東京，日本看護協会出版会，2017.
参考文献	坂下玲子他 2 名：系統看護学講座　別巻　看護研究．東京，医学書院，2016. ビヴァリー M. ヘンリー：看護研究ハンドブック－ヘルスケアの質改善のために－． 東京，医学書院，2004. 他、適宜提示する
評価方法	小テスト（50％）、クリティークに関する個人レポート（20％）、研究計画書（30％） 注）1 ～ 20 回は前期に開講し、左記の授業での知識獲得状況を確認するため小テストを実施する。
教員等の実務経験	看護研究を継続してきた教員が、その経験を活かして看護研究方法の授業を実施する。
メッセージ	本科目受講の前提として、データベース検索の理解は不可欠です。図書館でのガイダンスに必ず参加し、国内外の論文データベースの利用方法を習熟して授業に臨んでください。 4 年次の卒業研究のためだけでなく、就職後も看護の質を向上させるための研究を自身で進めていくことができるように、基礎をしっかり学びましょう。